

第29期座間市青少年指導員 活動のあゆみ

令和6・7年度



目 次

青 少 年 と 共 に (座間市青少年指導員協議会会長) ..	1
座間市青少年指導員活動のあゆみによせて (座間市長)	2
座 間 市 の 概 要	3
児 童 生 徒 数 の 推 移	4
青 少 年 指 導 員 の あ ゆ み	5
青 少 年 指 導 員 の 役 割	6
令 和 6 年 度 事 業 報 告	7
令 和 7 年 度 事 業 報 告	12

各地区協議会活動報告

座 間 中 学 校 区	19
西 中 学 校 区	22
東 中 学 校 区	26
栗 原 中 学 校 区	30
相 模 中 学 校 区	33
南 中 学 校 区	37

全体活動報告

ふるさとまつり	40
座間市成人式	41
青少年芸術祭	41
専門部活動	41
交流事業	43

参 考 資 料

令和6・7年度座間市青少年指導員名簿	45
神奈川県青少年指導員委嘱要領	46
座間市青少年指導員に関する要綱	47
座間市青少年指導員協議会規約	48
座間市青少年指導員協議会組織図	50
県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図	51
教育・文化・スポーツ施設一覧	52
あ と が き	54

青少年と共に



座間市青少年指導員協議会
会長 萩原 正恵

第29期青少年指導員活動も終わろうとしています。いつも任期の終わりには、全指導員のリーダーになれたらどうかと自問自答します。「萩原会長だからついて行っています」との声を聞く事もありました。ええ…本当！何よりもうれしい言葉です。今のメンバーは最高だと思ふ事が私の答えです。この仲間と2年間多くの活動をして来ました。

令和7年度のふるさとまつりは雨の降りしきる中、田んぼのようなグラウンドに砂を入れたりし苦勞はしました。人気の釣り堀は中止としましたが、スマートボール、お絵描きは、多くの参加があり天候に関係のない子ども達には感謝です。

今期の成人式はスカイアリーナでの開催でした。実行委員会方式を取り入れての式となり、式典の他に抽選会もあり、会場内は楽しい場になりました。やはり時代の流れを感じます。

大和市との合同研修も続いています。会場は交互に開催しており、令和7年度は座間市で行いました。電気パン、遊び道具作り（ぶんぶんゴマ、ビー玉万華鏡、グルグルヤジロベ）は、出来上がったときには童心に戻ったような顔におもわず笑っちゃいました。

文化部研修では、令和6年度が座間の歴史を楽しく知ろうとの趣旨で「座間の歴史講座」、令和7年度は座間の郷土食材を使った料理を学び新しい発見もありました。また、令和6年度同時におこなったワイヤーアート体験ではビーズでアクセサリーを作りました。手先の運動と頭の活性化にもなりました。

野外研修では令和6年度に横浜市民防災センターに行きました。残念ながら機械の故障で起震車体験はできませんでしたが地震が起きた時の行動等を学び、もしもの時に役に立つと思います。

令和7年度のJAXA宇宙科学研究所相模原キャンパス見学では宇宙に行ける日が…夢の世界ですね。また同日見学した相模原市立博物館でのプラネタリウムはまさしく宇宙体験でした。最高の一言です。

また、青少年フェスティバルは各地区試行錯誤した結果、たくさん子ども達の笑顔を見る事ができたと思います。お疲れ様でした。

青少年芸術祭4部門とも中止でした。開催できる日を楽しみに待ちましょう。

最後になりましたが2年間に渡り御支援と御指導を賜りました座間市及び教育委員会、交流させていただきました全ての方々に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

「座間市青少年指導員活動のあゆみ」によせて



座間市長 佐藤 弥斗

第29期の青少年指導員皆様の2年間の御活動に対し、感謝と御礼を申し上げます。

また、皆様方には青少年に対し、多様な体験活動、地域間交流、各青少年団体の育成及び支援、地域環境健全化、青少年健全育成団体間の交流促進など、多岐に渡り御活躍いただきましたことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、近年では、社会環境の急速な変化に伴い、青少年を取り巻く環境は著しく変化しております。情報化の進展や生活様式の多様化は多くの可能性をもたらす一方で、ネットトラブルなど、青少年が巻き込まれる事件が増えてきていることも事実です。人と人との関わりが減り、顔の見えない相手と文字でやり取りすることが、今や当たり前の時代となっていました。また、多すぎる情報は、時に人の判断を狂わせてしまうこともあるでしょう。インターネット等で得た情報だけではなく、自分の足で赴き、自分の眼で見て、耳で聞いて、何かを感じ、自ら判断する力を養うことが青少年にとって大切なことなのではないでしょうか。青少年が健やかに成長していくためには、地域社会全体で支え合う取組の重要性がこれまで以上に高まっています。

こうした中で、座間市青少年指導員の皆様には、青少年が笑顔溢れるようにと積極的に子どもたちとふれあって頂きました。

今後においても、様々な活動を通じて、人と「ふれあうこと」の大切さを伝えていただき、次代を担う子どもたちが健やかでたくましく成長し、地域への誇りと愛着を持って歩んでいけるよう、明るい社会を構築する一助となって頂けたら幸いに存じます。

萩原会長をはじめ会員の皆様に、心より感謝の意を表し、厚く御礼申し上げますとともに、座間市青少年指導員協議会の更なる御活躍・御発展を祈念申し上げます。

座間市の概要

1. 沿革

本市は、1万数千年前から人々が居住していたと言われています。

奈良時代には、旧東海道の駅名として「相模国夷参駅」の記録があり、平安時代に入ると、倭名類聚鈔の高座郡の郷名に「伊参」の記録があります。

その後、戦国時代には、小田原北条氏の所領となり、江戸時代には幕府直轄や大名領となりました。

明治時代に入ると、廃藩置県により神奈川県に属し、明治6年には、座間宿村、座間入谷村、栗原村、新田宿村、四ッ谷村の5村となり、明治22年町村制実施により5村と新戸村（現相模原市）飛地を合併して「座間村」を形成しました。その頃は、米麦、養蚕を中心とした農村社会でした。

大正15年神中線（現相模鉄道）、昭和2年小田急小田原線、昭和6年相模鉄道（現JR相模線）が開通しました。昭和12年、東京から陸軍士官学校が移転、同年12月町村制を施行し、座間村から座間町となりました。

昭和16年、旧高座郡北部5カ町村と合併して軍都相模原町を形成しました。昭和20年、終戦と同時に陸軍士官学校は閉鎖され、引き続き米軍が駐留し、現在のキャンプ座間となりました。昭和23年9月、相模原町から独立し、新生座間町として出発しました。

その後、昭和30年工場誘致による民間企業の進出や人口急増など、高度経済成長とともに都市化が進み、昭和44年には人口5万人に達し、昭和46年11月、県下17番目の市として市制を施行しました。以来、首都圏のベッドタウンとして成長し、現在では、工業や住宅などの複合都市となっています。

2. 地勢

本市は、東京から南西へ40Kmで、神奈川県中央部に位置しています。市域面積は、17.57Km²、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部には相模台地、西部には相模川に沿って沖積低地が広がり、起伏に富んだ地勢を構成しています。

(位置：東経 139° 24' 38" 北緯 35° 29' 07")



市のシンボルマーク



市の花
《ヒマワリ》



市の木
《モクセイ》



市の鳥
《シジュウカラ》

児童生徒数の推移

1. 児童生徒数の推移（各年5月1日現在）

(1) 小学校

年 度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29
児 童 数	6,716	6,577	6,440	6,373	6,376	6,386	6,330	6,365
教 員 数	317	318	324	329	338	337	341	345
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	236	234	237	236	209	239	238	242

年 度	平成30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
児 童 数	6,323	6,285	6,229	6,152	6,119	5,961	5,933	5,850
教 員 数	341	357	355	345	352	352	365	368
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	239	242	237	232	236	233	248	248

(2) 中学校

年 度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29
生 徒 数	3,413	3,365	3,409	3,335	3,207	3,099	3,057	3,072
教 員 数	196	198	203	202	196	192	193	193
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	108	105	106	104	100	97	99	98

年 度	平成30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
生 徒 数	3,040	3,033	3,024	3,071	3,050	3,101	3,050	3,030
教 員 数	187	190	193	196	200	200	201	202
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	98	98	99	99	102	107	106	109

青少年指導員のあゆみ

青少年指導員は、地域社会の青少年の健全育成活動を積極的に推進するため、地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を育成する実践的活動をすすめていく、推進役という趣旨で制度化されました。こうした青少年指導者制度は、次のような過程をたどって発展しました。

昭和21年、戦後の社会秩序の混乱は、道徳を退廃させ、青少年の不良化が激増。文部省（現文部科学省）はこうした事態を対処する教育的処置として「児童愛護班活動要綱」を都道府県に通達。昭和22年、文部省の要綱設定の趣旨に基づき、神奈川県でも「児童愛護班」を結成し、公園、街頭などで児童対象の小集会を開き、レクリエーション指導など巡回活動を実施しました。

昭和24年、各地に「子ども会」結成の気運が高まってきました。昭和25年、「神奈川県校外生活指導者制度」が設置されるにおよび、「児童愛護班」は発展的に解消することになりました。

昭和31年、「校外生活指導者」の活躍により、単位子ども会数が1,000団体となり、さらに昭和35年には、約2,500団体にまで発展しました。

昭和36年、社会教育の重要性と独自性が強調され、単なる学校教育の補充的活動から脱皮して、地域におけるボランティア活動の推進力としての「地区少年指導員」が設置されました。活動内容も、地域の少年の健全育成活動、非行防止活動、環境浄化活動など広範囲に行われるようになりました。

昭和43年、従来の青少年指導に勤労青年の指導を加えることとし「地区少年指導員制度」を改正し、名称を現在の「青少年指導員」としました。この年に第1回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

なお、座間市でもこの年「座間町青少年指導員制度」が発足し、当時の町長から委嘱された青少年指導員は29人でした。

昭和45年、青少年指導員相互の緊密な連帯を図るため「神奈川県青少年指導員連絡協議会」が結成されました。

「青少年指導員制度」が発足して57年になります。社会の変動に伴い青少年指導員に対する社会的欲求や期待もおのずから変化している現在、青少年指導員に対して、青少年の健全育成のための地域づくりをはじめ、地域の青少年のニーズに対して機敏に反応し活動する事が求められています。

青少年指導員の役割

1. 青少年の体験活動の推進
 - 自然、文化、スポーツ、レクリエーションなど多様な体験活動の促進
 - ボランティア活動の促進
 - 就労体験（職場体験活動）
 - 子ども会議、討論会など、青少年の意見表明の機会づくり
 - 異年齢交流、地域間交流、国際交流の促進

2. 青少年団体の育成と支援
 - 成人指導者、育成者の発掘と養成
 - 青少年（中・高校生）リーダーの発掘と養成
 - 青少年団体の育成と組織づくりの支援
 - 青少年団体への協力・支援
 - 青少年関係団体間の連絡と協調

3. 青少年育成に望ましい地域づくり
 - 地域の共通課題について、話し合い、学び合う機会の拡充
 - 家庭・学校・地域の開かれた関係づくりと連携の強化
 - 地域の魅力の再発見と活用
 - あいさつ・声かけ運動などの促進
 - パトロール、キャンペーンなど地域環境健全化の推進
 - 関係機関、関係団体、関係業界への要請

4. 青少年に関する相談と対応
 - 会話、対話を通じた青少年との関係づくり
 - 青少年育成に関する相談と地域活動情報の提供
 - 青少年の悩み、心配事相談と専門機関の紹介
 - 関係機関、関係団体との連携強化

5. 青少年に関する調査と情報提供
 - 青少年の意識・行動実態の調査
 - 青少年を取り巻く社会環境の調査
 - 青少年が活用できる地域資源の調査
 - 青少年に関する情報の収集、整理、提供

令和6年度 事業報告

青少年指導員協議会では、令和6年度の活動方針を次の5項目としました。

- (1) 青少年の健全育成を図る
- (2) 青少年指導員の資質の向上を図る
- (3) 地区協議会活動を充実させる
- (4) 青少年の文化、レクリエーション活動の支援及び推進
- (5) 青少年指導員活動の地域へのPRに努める

以上5項目を柱として、青少年指導員協議会としての全体活動、地区協議会活動、専門部活動を実施しました。また、座間市からの受託事業「青少年フェスティバル」にも協力し、地域の健全育成に努めました。

1 会議、活動報告 全体会、役員会議

実施日	会議名	内容	場所等
4月11日	三役会	第29期座間市青少年指導員委嘱式について	青少年センター
4月25日	退任式 委嘱式 全体会	退任者感謝状及び記念品贈呈、県・市委嘱状 交付 役員選出、専門部の決定、新役員の紹介、活 動方針、活動計画案、事業計画案、予算案	青少年センター
5月8日	三役会 役員会	三部会事業計画、二市合同研修会、青少年フ ェスティバル実行委員会立ち上げ会議(書面 開催)の実施、令和7年座間市成人式実行委 員会委員の選出、令和6年度県央地域青少年 指導員活動研修会について	青少年センター
6月5日	三役会	県青少年指導員表彰候補者選考	青少年センター
6月5日	役員会	文化活動部研修会、野外活動部会第1回会議 について	青少年センター
7月3日	三役会 役員会	文化活動部研修会、野外活動部会、座間市・ 大和市合同研修会、第44回中学生の主張作 文コンクール審査会における審査員選出につ いて、令和6年度座間市青少年善行褒賞候補 者の推薦について	青少年センター

9月4日	三役会 役員会	二市合同研修会、第39回座間市民ふるさとまつり、座間市表彰式、第55回神奈川県青少年指導員大会について	青少年センター
10月2日	三役会 役員会	文化活動部研修会(延期後)、第39回座間市民ふるさとまつり	青少年センター
11月6日	三役会 役員会	第48回座間市青少年健全育成大会、令和7年成人式の応援依頼について	青少年センター
令和7年 1月8日	三役会 役員会	令和7年成人式の応援依頼、全体会、令和6年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰式について	青少年センター
3月5日	三役会 役員会	全体会の実施、地区活動費の決算書の提出及び残金の戻入について	青少年センター

2 専門部活動

(1) 文化部活動

実施日	内 容	人 数	場所等
5月15日	第1回文化活動部会	6	青少年センター
8月7日	第2回文化活動部会	5	青少年センター
8月31日 【延期】	文化部研修会 (台風接近により延期)	—	
10月27日	文化部研修会 「ワイヤークラフト体験及び座間の歴史講座」	24	青少年センター、 市役所展望回廊

(2) 野外部活動

実施日	内 容	人 数	場所等
5月29日	第1回野外活動部会	6	青少年センター
7月21日	野外部研修会「地震・火災体験講座」	21	横浜市民防災センター

(3) きずな編集部活動

実施日	内 容	人 数	場所等
6月20日	青少年指導員広報紙「きずな」第66号 第1回編集会議	5	青少年センター

9月6日	青少年指導員広報紙「きずな」第66号 第2回編集会議	6	青少年センター
10月1日	青少年指導員広報紙「きずな」第66号発刊 (4,200部)		
令和7年 1月30日	青少年指導員広報紙「きずな」第67号 第1回編集会議	6	青少年センター
2月21日	青少年指導員広報紙「きずな」第67号 第2回編集会議	6	青少年センター
3月31日	青少年指導員広報紙「きずな」第67号発刊 (4,070部)		

3 交流活動事業

実施日	内 容	人 数	場所等
7月31日	座間市・大和市二市合同研修会 事前打合せ	5	大和市市民活動拠点 ベテルギウス
9月29日	座間市・大和市青少年指導員(連絡)協議会 令和6年度二市合同研修会「モルック、意見 交換会」	45 座間市24 大和市21	大和市立文ヶ岡 小学校

4-1 対外関係(神奈川県・県央地域青少年指導員連絡協議会)

実施日	内 容	場所等
5月17日	第1回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議 会 定例会	県央地域県政総合セン ター
5月26日	県央地域青少年指導員活動研修会「場づくりに生 かす『インプロ(即興表現)』ワークショップ」	厚木市シティプラザ6階 サイエンスホール250
6月17日	第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
7月4日	第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会委員総会	かながわ県民センター
7月11日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	海老名市役所会議室
7月11日	第2回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議 会 定例会	海老名市役所会議室
7月26日	県央地域青少年社会環境健全化推進街頭キャン ペーン	海老名駅東口自由通路

8月20日	第2回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
9月17日	留置施設視察委員会(神奈川県留置施設視察)	三崎警察留置施設、横須賀南警察署留置施設
11月8日	第3回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議会 定例会	県央地域県政総合センター
11月10日	第55回神奈川県青少年指導員大会	相模原南市民ホール
11月25日	神奈川県留置施設視察委員会 視察中間会議	神奈川県警察本部
令和7年 2月11日	神奈川県青少年育成功労者・育成活動推進者表彰式	県立青少年センター
3月14日	第4回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議会 定例会	県央地域県政総合センター
3月18日	第3回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター

4-2 対外関係(座間市)

実施日	内 容	場所等
6月3日	座間市“社会を明るくする運動”推進委員会	座間市役所
7月2日	座間市安全安心まちづくり推進協議会 総会	座間市役所
7月3日	座間市“社会を明るくする運動”街頭啓発キャンペーン	スーパービバーホーム 座間店
7月5日	座間市青少年問題協議会	青少年センター
7月20日	令和7年成人式実行委員会設立会議	青少年センター
9月13日	第48回座間市青少年健全育成大会起草委員会	青少年センター
9月18日	座間市青少年善行褒賞審査会	青少年センター
9月18日	第44回中学生の主張作文コンクール審査会 第1回審査会	青少年センター
9月25日	第44回中学生の主張作文コンクール審査会 第2回審査会	青少年センター
10月2日	安全・安心まちづくり旬間推進激励式	座間市役所
11月17日	第39回座間市民ふるさとまつり	座間中学校グラウンド

11月23日	第48回座間市青少年健全育成大会	青少年センター
12月15日	令和7年座間市成人式実行委員会	青少年センター
令和7年 1月13日	令和7年座間市成人式 ~二十歳のつどい~	スカイアリーナ座間 大体育室

5 市からの受託事業

(1) 第36回座間市青少年フェスティバル

実施日	会議等名	内容	人数
6月20日 (書面表決日)	実行委員会 (書面)	第36回座間市青少年フェスティバル実行委員会 結成会議	19
11月30日	座間中学校区	豚汁、フランクフルト、昔あそび、ストラックアウト、 バルーンアート、ディスクッチャー、○×クイズ、 ガチャポン、消防車展示、煙体験、消防服の試着	750
12月1日	東中学校区	ドッジボール大会、ストラックアウト、キックターゲ ット、ディスクゲッター、スカットボール、輪投げ、スマ ートボール、スリッパとぼし、生徒会○×クイズ、校 長先生とじゃんけん大会、消防車両展示、煙体 験、はしご車試乗体験	461
12月7日	西中学校区	部活動体験会&カレーを食べよう！！	447
12月8日	南中学校区	フリースロー、スカットボール、ストラックアウト、キ ックターゲット、紙ひこうき飛ばし、むかし遊び、校 長先生とのじゃんけん大会	290
12月14日	相模中学校区	ぎまりん記念撮影、スマートボール、電撃イライラ 棒、ポップコーン、駄菓子、麦茶(コミュニティスク ールにより、チアダンス、相模中合唱部、自転車競 技、一輪車競技、輪投げ、スカットボール、ボール 投げ、ストラックアウト、サッカーダーツ、くつ飛ば し等)	440
12月24日	栗原中学校区	ボッチャ、スカットボール、スマートボール、モルツ ク、ストラックアウト、ドッチビー、防災炊き出し体験	267
合計人数 (会議人数を除く)			2,655

令和7年度 事業報告

令和7年度の活動方針は、令和6年度の活動方針を基本とし、さらに活動の充実を図ることとしました。

1 会議、活動報告 全体会、役員会議

実施日	会議名	内 容	場所等
4月23日	三役会	全体会について	サニープレイス座間
	全体会	令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度活動計画・事業計画・予算について	サニープレイス座間
5月14日	三役会	令和8年座間市成人式実行委員会委員の選出、大和市との合同研修会の研修内容について	サニープレイス座間
	役員会	三部会事業計画、青少年フェスティバル実行委員会立ち上げ会議(書面開催)の実施について、令和8年座間市成人式実行委員会委員の選出について、令和7年度県央地域青少年指導員活動研修会、社会福祉法人座間市社会福祉協議会評議員の推薦について	サニープレイス座間
6月4日	三役会 役員会	第1回文化活動部会、第1回野外活動部会、座間市“社会を明るくする運動”街頭啓発キャンペーンについて	サニープレイス座間
7月2日	三役会 役員会	座間市・大和市合同研修会、第49回座間市青少年健全育成大会起草委員会、第45回中学生の主張作文コンクール審査会における審査員選出、令和7年度座間市青少年善行褒賞候補者の推薦、座間市“社会を明るくする運動”街頭啓発キャンペーンについて	サニープレイス座間
9月3日	三役会 役員会	座間市・大和市合同研修会、第40回座間市民ふるさとまつり、第45回中学生の主張作文コンクール審査会について	サニープレイス座間
10月1日	三役会 役員会	文化活動部研修会、第40回座間市民ふるさとまつり、第49回座間市青少年健全育成大会について	サニープレイス座間

11月5日	三役会 役員会	第40回座間市民ふるさとまつり、第49回座間市青少年健全育成大会、第2回きずな編集部会、令和8年成人式の応援依頼、青少年フェスティバル開催スケジュール、きずな第68号について	サニープレイス 座間
令和8年 1月7日	三役会 役員会	令和8年成人式の応援依頼、全体会、退任式・委嘱式、令和7年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰式、活動のあゆみ(まとめ誌)について	サニープレイス 座間
3月4日	三役会 役員会	第3回きずな部会(まとめ誌)、退任式・委嘱式・全体会の実施、座間市青少年指導員協議会規約の改正について	サニープレイス 座間

2 専門部活動

(1) 文化部活動

実施日	内 容	人 数	場所等
5月21日	第1回文化活動部会	6	サニープレイス 座間
8月6日	第2回文化活動部会	4	サニープレイス 座間
10月19日	文化部研修会 「座間の郷土食材を使った料理を学ぶ」	24	座間市民健康セ ンター



(2) 野外部活動

実施日	内 容	人 数	場所等
5月27日	第1回野外活動部会	6	サニープレイス 座間
8月13日	第2回野外活動部会	5	サニープレイス 座間
8月31日	野外部研修会 「施設見学及びプラネタリウム観賞」	21	JAXA宇宙科学 探査交流棟、相 模原市立博物館

(3) きずな編集部活動

実施日	内 容	人 数	場 所 等
6月19日	青少年指導員広報紙「きずな」第68号 第1回編集会議	5	サニープレイス 座間
12月23日	青少年指導員広報紙「きずな」第68号 第2回編集会議	7	サニープレイス 座間
令和8年 1月1日	青少年指導員広報紙「きずな」第68号発刊 (4, 200部)		
3月10日	第29期(令和6・7年度)座間市青少年指導員 活動のあゆみ(まとめ誌) 第1回編集会議	7	サニープレイス 座間
3月31日	「第29期(令和6・7年度)座間市青少年指導 員活動のあゆみ」(まとめ誌)発刊 (200部)		

3 交流活動事業

実施日	内 容	人 数	場 所 等
8月4日	座間市・大和市二市合同研修会 事前打合せ	3	サニープレイス 座間
9月28日	座間市・大和市青少年指導員(連絡)協議会 令和7年度二市合同研修会 「遊び道具工作・電気パンの実験研修」	44 座間市27 大和市17	サニープレイス 座間

4-1 対外関係(神奈川県・県央地域青少年指導員連絡協議会)

実施日	内 容	場 所 等
5月19日	令和7年度度神奈川県青少年指導員連絡協議会 理事会	かながわ県民センター
6月11日	令和7年度第1回神奈川県青少年指導員連絡協 議会 委員総会	かながわ県民センター
5月26日	県央地域青少年指導員活動研修会「青少年支援 のためのコミュニケーションワークショップ」	厚木市シティプラザ6階 サイエンスホール250
7月4日	神奈川県留置施設視察委員会	厚木警察署留置施設、 秦野警察署留置施設
7月29日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	海老名市役所会議室

7月29日	第1回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議会 定例会	海老名市役所会議室
8月21日	県央地域青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン	海老名駅東口自由通路
8月21日	第2回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
10月24日	留置施設視察委員会(神奈川県留置施設視察)	鎌倉警察署留置施設
11月28日	神奈川県留置施設視察委員会 視察中間会議	神奈川県警察本部、伊勢佐木警察署留置施設
11月29日	第56回神奈川県青少年指導員大会	茅ヶ崎市民文化会館
令和8年 1月14日	第3回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
1月16日	留置施設視察委員会(神奈川県留置施設視察)	相模原南警察署留置施設、相模原警察署留置施設
2月16日	神奈川県留置施設視察委員会 最終会議	神奈川県警察本部
2月22日	神奈川県青少年育成功労者・育成活動推進者表彰式	県立音楽堂
3月13日	第2回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議会 定例会	県央地域県政総合センター
3月25日	第4回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	波止場会館

4-2 対外関係(座間市)

実施日	内 容	場所等
7月1日	座間市安全安心まちづくり推進協議会 総会	座間市役所
7月3日	座間市青少年問題協議会	座間市役所
7月10日	座間市“社会を明るくする運動”街頭啓発キャンペーン	スーパービバーホーム 座間店
8月3日	令和8年成人式実行委員会設立会議	サニープレイス座間
9月12日	第49回座間市青少年健全育成大会起草委員会	座間市役所

9月18日	座間市青少年善行褒賞審査会	座間市役所
9月18日	第45回中学生の主張作文コンクール審査会 第1回審査会	座間市役所
9月24日	第45回中学生の主張作文コンクール審査会 第2回審査会	座間市役所
10月6日	安全・安心まちづくり旬間推進激励式	座間市役所
11月9日	第40回座間市民ふるさとまつり	座間中学校グラウンド
11月16日	第49回座間市青少年健全育成大会	サニープレイス座間
12月21日	令和8年座間市成人式実行委員会	サニープレイス座間
令和8年 1月12日	令和8年座間市成人式 ~祝 生誕20年~	スカイアリーナ座間 大体育室



5 市からの受託事業

(1) 第37回青少年フェスティバル

実施日	会議等名	内容	人数
6月20日 (書面表決日)	実行委員会 (書面)	第37回座間市青少年フェスティバル実行委員会 結成会議	19
11月29日	座間中学校区	とん汁、フランクフルト、昔あそび、ストラックアウト、缶バッジ製作、フリースロー、ディスクキャッチャー、〇×クイズ、ガチャポン、消防車展示、消防服の試着、綿菓子、福祉ビンゴゲーム、謎解きスタンプリナー	670
12月6日	西中学校区	部活動体験会&カレーを食べよう！！	444
12月6日	南中学校区	スカットボール、ストラックアウト、キックターゲット、紙ひこうき飛ばし、むかし遊び、校長先生とのじゃんけん大会	215
12月7日	東中学校区	ドッジボール対抗戦、ストラックアウト、ディスクゲッター、スカットボール、キックターゲット、輪投げ、スマートボール、イライラ棒、はしご車試乗、防火服試着	355
12月13日	相模中学校区	スマートボール、電撃イライラ棒、五目ご飯(アルファ米)の調理、ざまりん(着ぐるみ)記念撮影、麦茶・ポップコーンの配布、BMX・一輪車競技、相模中合唱部・相模中バンド・お囃子の演奏、輪投げ、スカットボール、ストラックアウト、スピードガンコンテスト、靴とばし、豚汁の調理	440
12月19日	栗原中学校区	ポッチャ、スカットボール、モルック、ストラックアウト、ビー玉万華鏡作り、紙飛行機飛ばし、防災炊き出し体験	258
合計人数 (会議人数を除く)			2,382



各地区協議会活動報告

- 座間中学校区
- 西中学校区
- 東中学校区
- 栗原中学校区
- 相模中学校区
- 南中学校区

1. 地区の特色
2. 地区の活動目標
3. 地区の主要活動
4. その他の活動
5. 2年間を振り返っての感想

座間中学校区

1. 地区の特色

市内の中心に位置し緑豊かな谷戸山公園、かにかが沢公園、小池の台地や目久尻川などの森と自然も色濃く残る一方、小田急相武台前駅を中心に商店やオフィスに賑わう街並みも、最近では次々とマンションや戸建て住宅が増加し相武台、緑ヶ丘地区の多くが住宅地となっています。

相武台前南口の道路も徐々に工事が進み狭く危険を感じていた通学路も拡張が進み便利さを感じています。また、小池地区や栗原地区には昔からの習慣や伝統行事も数多く残っています。

学校区内には市役所、文化会館、図書館、消防本部、市民体育館、そして総合病院も設置され、「市民ふるさとまつり」をはじめとして様々な行事もメイン会場になるなど市の行政・文化の中心となっています。



2. 地区の活動目標

- ① 理解と愛情による青少年の健全育成
- ② 地域の文化、レクリエーション活動の推進
- ③ 地域、学校、家庭との連携した活動
- ④ 学校、青少年団体、自治会など他団体の活動に参加支援

3. 地区の主要活動

徐々に新型コロナウイルス感染症による制限が解除され、これまで通りの活動が戻りつつあります。

恒例となっている「青少年フェスティバル 青少健ふれあいまつり」には500人以上の来場者数があり開催にあたっては、学校側・地域の各団体組織の方々にも協力が得られて盛大に開催することができました。

私達の出店ブースでは「缶バッチ」作りを体験していただき、図柄には座間市のマスコットキャラクターであるごまりんのイラストや自身でデザインしたオリジナル缶バッチを作るなど大好評でした。他にもれあい体験やゲーム・フードコーナーがあり名物である豚汁では、大根・人参・ごぼう・里芋・長ネギなどは地元で栽培された野菜を用いて提供させていただいています。

また、青少年指導員の各研修にも積極的に参加させていただき他学区の指導員の方々と交流することができました。

4. その他の活動

座間中学校には、地域交流協議会という歴代PTA役員や地域の方々を中心とした団体があり、青少年指導員も会員として連携を図った活動を行っています。

本会は座間中学校及び生徒を全面的に支援しており、学校の環境整備や入学式、卒業式の参観、吹奏楽部による「ふれあいコンサート」の観覧、青少健まつりや駅伝大会など様々な学校行事に協力しています。

今後も座間中学校を中心に相武台東小学校、立野台小学校とさらに連携を深めながら生徒や児童、地域の方の一助となるような活動を行ってまいります。

5. 2年間を振り返っての感想

有 山：今期の2年間は野外部長を務めさせていただきました。部会では改めて研修の目的や方法など様々な提案をあげていただき無事開催することができました。各中学校区の指導員の皆様ともさらに交流を図ることができました。部会の皆様と事務局に感謝いたします。これからも地区のPTAや地域の皆様と連携を図り、活動を行っていきたいと思います。

中 村：部活動では電気パン作りを体験し、材料や工程が簡単で小学生でも無理なく取り組める内容だと感じました。実際に作ってみると味も良く体験型の活動の良さを改めて実感し、子どもたちにも、ぜひこのような経験をさせたいと思いました。

また、ふれあい祭りでは券配りを担当し、来場者の年齢層や人数などを知ることができ、地域の方々と直接触れ合う中で交流の大切さを感じるとともに、祭りを開催する意義を改めて考える機会となりました。
色々な体験をさせていただきありがとうございました。

人 見：活動を通じて色々な体験をさせていただきました。ありがとうございました。ふれあいまつりではたくさんの方の笑顔を見ることができ、とても素晴らしい時間が過ごせ嬉しく思いました。

来期も色々な場面でたくさんの方の笑顔に出会える活動ができたらと思います。

佐久間：今期の活動の中では、毎年恒例となっている子ども達の青少年美術展がなかったこと。各作品を通じて子供達がどんな思いを込めて制作に取り組んだのか。また、学年が上がるに連れて絵具の色使いや物のとらえ方な少しずつ変わっていくことで、作品に対する思いを感じることができた瞬間でした。次年度からはこれまで通りに開催できることを楽しみにしています。

小 坂：今期も無事に終わり、明るく楽しく活動することができました。

今年度はふれあいまつりの会計をさせていただいた事から準備の段階から係わることができ、その中で多くの地域の方々のご協力があったのおまつりだ

なあと改めて感じた年となりました。

来期より芸術祭も復活！？子どもたちの笑顔を見ることができるようになります。楽しみにしております。

内 山：初参加であった大和市との合同研修会では、初体験のモルックで皆さんと競い合い、交流を深め、帰り道では新しいお店に、同学区のメンバーで和気藹々とランチを堪能しました。

子どもたちを取り巻く環境の一部である私たちが、楽しみながら子どもに接することは重要です。子どもたちは背中を見ており、嘘はつけないのですから。皆さんと楽しみながら、子どもたちのために活動していきたいと思えます。

新 藤：青少年指導員として初めての二年間を経験し、ふるさと祭りなどの活動を通して子どもたちと直接ふれあう中で、地域交流の大切さを強く感じました。現代は人との関わりが希薄になりがちですが、講習や活動を通して顔を合わせる機会の重要性を実感しました。

モルックでは素朴な遊びながらチームワークが生まれ、とても楽しく、ぜひ子どもたちとも一緒に体験したいと思いました。

また、地域の食材を使った料理教室では素材の味を活かす美味しさと、手間をかける大変さを学び、子どもたちにもこのような調理実習の機会があればよいと感じました。

今回の経験を通して、地域の中で子どもたちと関わる機会の大切さを改めて感じました。これからも、できることから少しずつ関わっていけたらと思います。

田 所：この二年間を振り返って、一番印象に残っているのはふれあいまつりです。毎年子ども達のために、地域の方々とふれあいまつりについて考えている時間はとても有意義なもので、まつり当日の子ども達の楽しそうな笑顔を見ると、地域の方々と一緒に子ども達を見守っている実感が湧き、貴重な経験をさせていただきました。これからも地域の方々とともに、教育活動を行っていけるよう勤めていきたいと思えます。



西 中 学 校 区

1. 地区の特色

西中学校区は座間市の西側に位置し、まわりには水田と畑が多く、西には相模川と自然に恵まれた環境にあります。小中高、養護、どの学校からも大山、丹沢連峰が一望でき、夕日の沈む綺麗な風景が見られるのも、この地区の宝だと思います。また、ひまわりまつりや、大凧祭りなどの会場に歩いて行けるほど近いというのも特権です。

まわりに田んぼが多いことから、地域の方々にご協力いただき、座間小、入谷小は田植えから稲刈りの後、はぎかけをして脱穀までのすべての米作りを体験し、12月には自分たちが収穫したお米で餅つき大会を開催し、地域の方々とふれあいながら美味しいお餅をいただきます。

学区内には、神社、仏閣や古くからの農家も多く、座間の伝統や文化を継承している地域で、お囃子や歌舞伎などの伝統文化を地域の方々が子ども達に指導していただいています。



2. 地区の活動目標

『地域に根ざした指導員活動』が目標

- ① 地域行事に積極的に参加しよう
- ② 地域の輪、人の輪を大切にしよう
- ③ 地域の文化、レクリエーション活動の推進役になるよう努力しよう

3. 地区の主要活動

◎ 西中学校区青少年フェスティバル
令和6年度【12月7日(土)】

晴天の下、恒例の部活動体験会を開催しました。座間小、入谷小の小学6年生78名が参加をして3つのグループに分かれ、体育館、グラウンド、校舎内と30分毎にローテーションをして各部活を体験しました。

中学生は将来の後輩達に部活動の楽しさを一生懸命伝え、小学生たちは身近に迫った中学校生活に思いをはせて、時間いっぱいまで楽しく教わり、活気あふれるイベントになりました。指導員とPTAさんたちで作るカレーは、カレーの食材の納品が遅れるというハプニングもありましたが、皆で協力し美味しいカレーができました。

今年のカレーも大好評でおかわりする子がたくさんいました。



令和7年度【12月6日（土）】

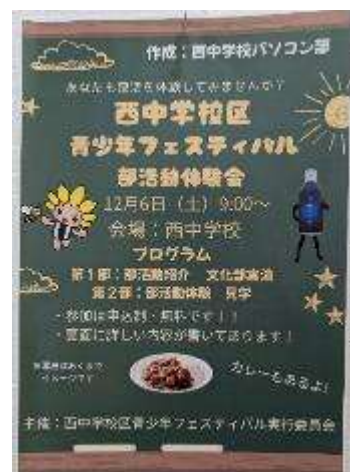
7年度も恒例の「部活動体験会」を開催しました。今までと大きく違うところは、小学生に配布する案内チラシの表面をパソコン部の生徒さんに作成してもらったこと（今までは指導員作成）と、昨年までは部活動体験時に3つの班を作り30分毎ローテーションで各部活を回っていたのですが、興味のある部活を存分に体験できなかったり時間がなかったりしたので、班も時間も分けずに自由に体験をしてもらいました。

とても盛り上がり、存分に楽しめて活気あふれる内容ではあったのですが、やはり部活の場所も関係しているせいか、体験数に差があったりしたので、今後の課題かなと思います。

大鍋で作る恒例のカレーは、とても美味しく大好評過ぎてカレーが足りなくなっていました。ほとんどの子はおかわりができたのですが、おかわりできない子もいて申し訳ない気持ちになりました。

P T Aの皆さん、先生方、中学生の皆さんのご協力に感謝いたします。

部活動体験は、あと数か月後に中学生になる小学6年生が中学の部活動に初めて触れ、部活選びの一助になると同時に、中学生がいち早く部活のアピールが出来るという素敵なイベントだと思います。



4. その他の活動

7月31日の鈴鹿神社宵宮祭時の境内及び周辺の防犯パトロールや、毎月2週目の木曜日、金曜日に西中学校で登校時に昇降口付近であいさつ運動を行っています。



5. 2年間で振り返っての感想

角 田：西中では月に2日、あいさつ運動をしています。仕事で参加出来ない日もありますができるだけ参加するようにしています。生徒が登校してくる時間帯に昇降口前で“おはようございます”と声を掛けます。“おはようございます”と返してくれる生徒、頭をペコッと下げて行く生徒、まったく無視の生徒、いろいろな反応があります。面白いです。一番嬉しいのはこっちが声を掛ける前に向こうから“おはようございます”と言ってきてくれることです。また、大きな声で返してくれるのも嬉しいです。目標は全ての生徒から“おはようございます”の声が返ってくることです。

そんな生徒・児童とふれあう事を楽しみに指導員の活動を続けて行きたいと思います。

小 林：この2年間も、西中の結束は、定例の地区協会でバッチリ図られ、また、研修やイベント等で、他校の指導員とも交流ができ、楽しく活動できました。歳を重ね、皆で集まるたびに健康の話。そんな中、西中の挨拶運動は、子どもたちから若さと元気をもらえる欠かすことの出来ないルーティンとなっています。今後も元気で楽しく活動できればと思っています。

鈴 木：年々1年終わるのが、早くなっていると感じます。多分、歳のせいでしょう。早いもので、青少年指導員も6期目です。仕事柄と無理の効かない年齢とで、朝のあいさつ運動に参加できなくなって、他のメンバーに申し訳なく思います。

指導員もいつまで続けられるかなぁ……。

明 石：早いもので指導員になって10年が経ちました。この10年の間に時代はどんどんデジタル化していきましたが、青少年フェスティバルやふるさと祭り、あいさつ運動などを通じて、子どもたちと直接触れ合える機会はとても貴重で、私にとって癒しの時間でもありました。

昨年は個人的に、「日常の生活も健康も当たり前ではない」ということを痛感する出来事がありました。だからこそ、これからも一日一日を大切にしながら、素敵な仲間たちと支え合い、身体を気遣いつつ来期も頑張っていきます。

吉 川：西中学校区青少年フェスティバルでは、中学入学に際し不安を感じている子どもたちに部活動体験を通じて中学生と「ふれあう」ことで、和やかな雰囲気

気で溶け込み、各自の行動も積極性が見られました。

大人が食材から厳選して作ったカレーを子どもたちが満面の笑みで食べている姿が印象的であり、これぞ指導員の醍醐味であると感じました。

地域活動を通して、青少年指導員の役割は単に指導することではなく、子どもたちの成長をそばで支え、見守る存在であることだと感じます。今後もこれまでの経験を生かし、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと 생각합니다。

松 本：今期2年間、青少年指導員の活動を楽しくやることができました。

青少年フェスティバルでのカレー作りも 自分的には年々上達しているかな？ って思っています。

来期も続けて青少年指導員をやらせてもらうので、楽しく青少年指導員をやりたいと思います。

山 城：青少年フェスティバルでは毎年たくさんの小学生が中学校の部活動を体験し、その中で私も子どもたちの笑顔と成長に触れ、とてもやりがいのある活動でした。他地区、他市の指導員の方々との出会い素敵な縁にも感謝です。とても充実した活動ができましたこと皆様本当にありがとうございました。

中 島：地区幹事を務めさせて頂き、青少年指導員が関わっている事が多数あることに驚きました。各学校区で児童、生徒、学校、地域の方と協力し、盛り上げている事が誇らしく思います。

今期も無事に青少年フェスティバルを開催できた事が、一番の出来事です。ありがとうございました。

辻：この2年間青少年指導員として活動しました。青少年フェスティバルで行う部活動体験は生徒たちも楽しみにしており、小学生の時に体験したことを自分たちも返してあげようという気持ちで溢れていました。このフェスティバルでは普段中学校にいただけでは見られない、兄・姉のような姿を生徒たちは見せません。わずかな時間ですが子どもたちの成長が見られる行事だなと感じさせられました。毎年教員もカレーをお腹いっぱい頂いています。来年度はもう少しお腹を空かせて参加させていただきます。



東 中 学 校 区

1. 地区の特色

長きにわたり市の発展に貢献してきた工場などが撤退し、地区の特色であった企業城下町的要素は薄らいでいます。その代わりに大型スーパー、ホームセンター、外資系スーパーなどができ、さらに隣接学区に大型モール、映画館、アウトドア施設を擁した大きな商業施設があるため、地域の人達だけでなく遠方からの買い物客なども多く、休日は車の渋滞が続いています。また、いくつもの物流センターができたため、国道246号線から東中学校区を通り行く車両も以前と比較してますます増加しています。

しかし、長年続けていただいている登下校時の地域の方々の見守りや、PTAの登下校時指導のおかげで、大きな事故もなく、子ども達は安心して過ごせています。

2. 地区の活動目標

「地域密着型の指導」が基本目標

- ① 健全育成協議会との綿密な連携
- ② 自治会、青少年団体などの活動事業に積極参加
- ③ 青少年の社会参加活動への援助



3. 地区の主要活動

令和6、7年度の青少年フェスティバルは、少しずつ変化した部分がありました。基本的に小学生も中学生も楽しめるイベントにしたいという考えのもと、学校と協議を図り実施してきました。

中学生への「フェスティバルで何がしたい？」というアンケート結果で、「ドッジボール」という意見が多かったため、『ドッジボール大会』をメインに開催しました。それを見た小学生の「自分たちもやりたい」という声に答えて、7年度には小学生もドッジボールを楽しんでもらえました。しかしながら、運営面ではまだまだ改善策が必要と感じました。また、例年のゲームコーナーをスタンプラリー制にしてご褒美あり、としたのは大好評でした。そして毎年恒例の「大鍋カレー」ですが、最近は材料費の高騰に悩まされてきました。しかし、7年度は他校指導員のご厚意のおかげで、子ども達はお腹いっぱいおかわりできたようです。協力をしてくださったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も地域の方々、学区内小学校PTA、東中PTAの皆さんのご協力をいただきながら、東中らしいフェスティバルを継続できるように願っています。



4. その他の活動

「ひばり小ふれあいまつり」「旭小ときめき秋祭り」は、規模を縮小したり外部団体が参加できなくなったりしたため、こども達とふれあう機会が少なくなったのは残念です。今後、子ども達の笑顔溢れるイベントに参加するきっかけが少しでも増えることを願っています。

他校との交流も重要と考え、他校のフェスティバルには積極的に参加しています。

5. 2年間を振り返っての感想

山 田：今期はフェスティバルのあり方や内容について、皆が少なからず悩んだ点があったように思います。こども達は何に興味があるのか？何をやれば楽しんでくれるのか？中学生も簡単な準備なら参加してくれるのか？先生方にどこまで協力を求められるのか？などなど・・・

それでも、こども達の笑顔を見れば癒されますし、皆さんとふれあう機会は貴重でほっこり気分になったりします。今後もこういう機会が失われないよう願います。

佐藤(和)：29期の指導員の皆さんと共に楽しく過ごすことができましたことは、とてもありがたいことと感じております。どうもありがとうございました。期間中に転職し、仕事環境が変わったこともあり、役員会に遅刻して駆けつけることもありまして、役員会の皆さまにはご迷惑をおかけしております。来期もまた皆さんと共に、できることなら気持ち良い時間を共有し、分かち合いたいなと願っております。

中 川：コロナが終息して自由に活動できるようになりました。その中で地域、小学校、中学校の行事を通してこども達が生き生きとした笑顔で活動し、成長していく姿を目の当たりに見られることがとても楽しいですね。これからも活動、行事に参加して明るく楽しく共に成長してまいります。

中 野：こども達から力をもらえて楽しく活動ができました。

しかし、今までは毎年行う活動をこなしていればそれで良いと思いながら活動していましたが、こども達の反応は薄いように思います。どんな事が求められていてどのように関わっていけば良いのか等、活動の方法を変化させていきたいと思った任期でもありました。

具体的に何も案が思いつきませんが、前向きにいたいと思います。

佐藤(伸)：今期も仕事と活動の両立が難しく、多くの時間を確保できず申し訳なく思っております。活動ができていない中、皆様からの激励のおかげで、自分にできる範囲で活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

吉 田：過ぎてみれば、あっというまの2年間でした。色々な活動の中で、青少年指導員の皆さんと心触れあい、こども達の笑顔を見ることができて、とても嬉しく思いました。

まだまだ未熟ですが、笑顔のため地域の青少年健全育成に努めます。

塩 見：青少年指導員としての活動も 2 期目を終えます。

今期は初めて主張作文コンクールの審査員を務めさせていただきました。当初は、そんなたくさんの応募作品を読めるだろうかと不安もありましたが、中学生の思いに触れ、素晴らしい作品の数々に感動しました。例年のフェスティバルも盛況に終わり、また文化部や野外部の研修も学びの場として楽しく参加させていただきました。ハーモニーホール改修後の美術展再開を心待ちにしています。

三ツ橋：昨年度、そして今年度と青少年指導員を担当させていただきました。

青少年フェスティバルという大きな行事を地域の方々と創り上げるなかで、改めてこども達は恵まれた環境の中で過ごせているんだと実感しました。限られたスペースではありましたが、生徒はフェスティバルに意欲的に参加し、最後には仲間と共に手作りのカレーを食べる姿がとても印象に残っています。今後も毎年改良を重ね、より良いものになるよう努めていきたいと思ひます。



栗原中学校区

1. 地区の特色

座間の中心に位置するここ栗原は、都市化と昔ながらの風景が混在している地域です。遠くに阿夫利嶺を望み、公園では四季折々の風景が楽しめます。

ここに住む人々は、地域の文化と風習を守り、それを継承する活動を展開しています。

青少年の健全育成においても地域の関連団体が連携をとりあい、それにふさわしい地域づくりを目指しています。

2. 地区の活動目標

- ① 指導員として、より地域の状況を把握する
- ② 挨拶を通し青少年への声掛けを積極的にする
- ③ 健全育成連絡協議会との情報交換を密にする
- ④ 地域行事への参加、協力を積極的にする
- ⑤ 青少年の夢の実現に協力を惜しまない



3. 地区の主要活動

◎ 栗原中学校区青少年フェスティバル

令和6年の青少年フェスティバルは新たな試みで平日の午後の開催になりました。

ニュースポーツ（ボッチャ・モルック）を主に短い時間帯のなかで五目アルファ化米の実演を行ない、閉会式後、全員に五目ごはんとコロッケを配布しました。

令和7年度には前年同様平日の午後開催となり、ニュースポーツを主に、新しくビー玉万華鏡の手作りコーナーを造り、五目アルファ化米実演もあり、何年ぶりかの紙ヒコーキ飛ばしコーナーはたいへん盛り上がりました。五目ごはんとお菓子を全員に配布して終わりました。



4. その他の活動

あいさつ運動

栗原中学校PTAの活動の1つで、青少健の協力の日に校門に立ち、校長先生や他団体の方々と一緒に「おはよう。行ってらっしゃい。」と声をかけます。

春は下を向いて歩く1年生も、夏を過ぎた頃には笑顔で「おはようございます。」と返してくれます。朝のほんの少しの時間ですが、元気をもらうひとときです



5. 2年間を振り返っての感想

寺 田：たくさんのお出会いもあり、別れもあった2年間でした。これからも新しい出会いを大切に子ども達の笑顔をたくさん見ていきたいですね。

深 谷：今期はメンバーの入れ替わりがあり、人数も減り、はじめは少し心配もありましたが、息の合うチームで活動できました。

青少年フェスティバルでは、紙飛行機飛ばしの復活、新たにビー玉万華鏡作りも加わり、生徒達がいろいろな競技等で大変盛り上がり楽しんでいる様子を見て嬉しく思い、またそれは、栗中の先生方、小中学校PTAの方々のご協力によりできるもので、地域の繋がりが大切なことを改めて感じました。

松 崎：毎回思いますが、2年間が終わってしまうと、あっという間に感じます。振り返ると、十分な活動ができたか自問自答しています。子どもたち、そして指導員の皆様の笑顔をたくさん見ることができるよう、来期も一層頑張ります。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

池 谷：2年間はあっという間でした。フェスティバルはみんなで話し合いを重ね、毎回新しいことにチャレンジしています。他にもあいさつ運動の声かけなどで、子ども達に地域の大人が見守って応援しているよ！ということが少しでも伝わるように、これからも頑張ります。

小 西：初めての青少年指導員の活動で戸惑いもありましたが、先輩方に教えて頂きながら、あっという間に2年が経ちました。様々な研修会では、個人ではできない事が多く、勉強になりました。また、平日開催の青少年フェスティバルは生徒や児童に喜んで参加してもらい大盛況でした。青少年指導員の存在も周知できて良かったと思います。今後も、学校や生徒のための地域団体として活躍していきたいと思います。

庭 山：今期、私は初めて青少年指導員として活動させていただき、あっという間の2年間でした。活動を通していちばん心に残っているのは、子どもたちの笑顔と元気な姿です。

あいさつ運動では、元気に挨拶を返してくれる姿があり、青少年フェスティバルでは、楽しそうな笑い声や、さまざまなことに意欲的に参加する子どもたちの姿に、私自身がたくさんの元気をもらいました。

来期もまた、子どもたちの笑顔に会えることを楽しみに、活動に取り組んでいきたいと思います。

岩 井：今期から青少年指導員の一員として活動に参加させていただきました。

今年度の青少年フェスティバルも、地域の皆様の温かいご協力のおかげで大変盛り上がる行事となりました。紙ヒコーキ飛ばし大会や工作など、様々な活動を通して生徒と地域の方が交流を深める貴重な機会となりました。学校だけでは実現できない充実した内容となり、地域とともに子どもを育てていく大切さを改めて実感した一年でした。

今後もより良いものになるよう努めていきたいと思います。



相 模 中 学 校 区

1. 地区の特色

相模中学校の学区は、市の最も北にある相模が丘の全部と広野台の大部分、小松原一丁目の全部、相武台一丁目の一部からなり、学区内にある相模野小学校と相模が丘小学校の卒業生は全員が相模中学校に進学しています。

行幸通り、辰街道、県道座間大和線や小田急相模原駅周辺から東海大学相模高校へ向かう道路ぞいの商店街が賑わい、全域にわたって住宅が密集する中に工場もあって、人口密度が高いエリアとなっています。

かつては大きな工場がたくさんあったのですが、それらが撤退したあとに大きなマンションがいくつもできたり、巨大なショッピングモールや映画館、スポーツジム、パーベキュー施設などができたりと、病院や医院も多くて便利で楽しく住みやすい地域となっています。

戦後の食糧難の時代に建設されて昭和40年台前半に役目を終えた畑地灌漑用水路の跡地は、桜百華の道に姿を変えて学区の中央を縦断しており、毎年3月下旬から4月上旬に盛大に開催される「さくらまつり」が地域の代表的な行事として定着しています。



2. 地区の活動目標

- ① 地域に密着したふれあい
- ② 地域の行事等に参加協力し健全育成団体との連携を図り、青少年健全育成のサポート役となる

3. 地区の主要活動

相模中学校の青少年フェスティバルは青少年指導員と相模中学校のコミュニティスクールが共催しており、開催に向けた打ち合わせは学校を含めた三者で行っています。

地区社協やPTAなどの連携もあり、様々なアトラクションを含めて盛大で楽しいお祭りができたと思います。

令和6年度は地区社協が豚汁を提供すると決めたことから、従来のスマートボールなどのゲームに加えて五目ご飯の提供を始めました。市の防災用備蓄品の400食分の五目ご飯の提供を受けて、一度に50食分のアルファ米に具材を混ぜてお湯を注いで一定時間の後にパックに取り分けるのですが、混ぜ方が悪いのかどうしても具材の濃いところと薄いところが出てしまいました。



令和7年度は昨年の反省を受けて十二分に混ぜてからお湯を注いだところ、均一で美味しくできあがりました。



4. その他の活動

北地区文化センターで行われた「子どもランド」にも参加協力ができ地域の子どもたちとのふれあいが図られました。

5. 2年間で振り返っての感想

高 橋：早いもので7期14年間で指導員として過ごせましたこと感謝いたします。ありがとうございました。

移動は歩きだけという私でしたが、相模が丘から青少年センターまで仲間に助けられ、よく通ったと思います。

様々な研修、ニュースポーツの体験、作品展、フェスティバル等とても楽しかったです。退任いたしますが本当にお世話になりました。

石 田：また、まとめ誌の時期が来てしまった感じですが、青少年指導員として実際に子どもたちと関わるイベントは、各中学校区で開催するフェスティバルだと思いますが、我々相模中学校の青少年指導員は積極的に他校で開催する青少年フェスティバルに参加し、多くの青少年指導員と交流しながら情報交換を行い、相模中学校区のフェスティバルに活かせるよう活動して来た二年間だと自負しています。今期をもってお辞めになる指導員の方々には大変お世話になり、心中より感謝申し上げます。

令和8年度の相模中学校区青少年フェスティバルにも是非とも、ご協力の程よろしく願いいたします。

- 茂 木：コロナも落ち着き二年間無事に活動することができました。
他校の皆様とも交流ができ有意義な時間を過ごせました。また次の任期も頑張っていきたいと思います。
ありがとうございました。
- 中 山：青少年指導員に就任して、初めての任期がまもなく終わろうとしています。
元々民生委員や自治会役員など、押し付けられる形で地域活動に首を突っ込んで来ましたが、青少年指導員も同様な経緯で就任することになりました。
なりたくてなった訳ではありませんが、やってみるとこれが結構楽しくて、仲間が増えて飲み会などもあって、良かったなと思いました。
青少年フェスティバルでは五目ご飯作りが忙しすぎて、祭りの内容を一切観ることが出来ませんでした。手伝ってくれた中学生からパワーをもらえて嬉しかったです。
- 丸 尾：青少年指導員として具体的にどんな活動をしているのか不安と期待でいっぱいのまま一期が終わろうとしています。
青少年フェスティバルでは地域の方々と協力しあい楽しめるイベントを企画し、参加した子や手伝ってくれた子とのさりげない会話の時間を大切に笑顔で「お疲れ様でした」「ありがとう」という言葉で来年が楽しみになりました。地域において青少年の健全な成長を支援し見守る重要な役割を感じました。住んでいる地域や郷土座間市を愛する子、大切にしている子達の成長に関わっていききたいという気持ちが強くなってきました。
そこに、青少年指導員をはじめ他団体においても人手不足が大きな問題となっています。今後の大きな課題だと感じました。
- 飯 島：2年間の青少年指導員としての活動を通して、多くの貴重な経験をさせていただきました。中でも特に印象に残っているのは、青少年フェスティバルでの出来事です。
当日、学生の方が自ら「何かお手伝いすることはありますか」と声をかけてくださり、人見知りすることなく楽しそうに取り組む姿に、私はとても感心いたしました。
青少年の前向きで素直な姿勢に触れ、私自身も温かい気持ちになり、活動の意義を改めて感じる時間となりました。家庭の事情により一期で退任することになりましたが、この2年間は多くの学びと気づきをいただき、自分自身の成長にもつながった大切な時間でした。関わってくださった皆様に心より感謝しております。

赤 羽：二年間お世話になりました。また、大きな学びをさせて頂きました。人それぞれ人生価値観が違う中、年を重ねるほどコントロールができなくなる実感。体調をくずしてからは、尚のことで、健康である大切さをひしひしと感じました。

メンバーとして楽しく過ごせた日々を懐かしく皆さまのご多幸と健康をお祈りいたします。ありがとうございました。

岡 田：今期から青少年指導員の一員となり、活動に参加させていただきました。振り返ると、この活動をはじめ、地域の人たちの支えが子どもたちに大きな影響を与えていることを身近に感じる事が出来ました。特に、実感したのが青少年フェスティバルやコミスクリスマスのときに見た子どもたちの表情です。一生懸命に活動に取り組む子どもたちの目は光り輝いていました。今では家庭や学校だけでなく地域でも支えることが子どもたちの健全な育成につながると改めて感じております。今後も微力ではありますが、そんな活動の一助になれたらと考えております。



南 中 学 校 区

1. 地区の特色

私たちは、国道246号の南側から海老名市境までを主な区域とした南中学校区を活動範囲としています。区域内には、東地区文化センターと東原コミュニティセンターがあり、マンション建設や斜面地等の宅地造成により住民が増えてきました。学校近くには、目久尻川や蛍で有名な「いっぺい窪」があり、6月には蛍が舞う姿が見られます。また、その近くの龍蔵神社は毎年7月の祭礼でにぎわいます。

2. 地区の活動目標

- ① 地域の行事等へ積極的に参加、協力する。
- ② 地域に根ざした指導員を目指す。
- ③ 青少年健全育成連絡協議会との交流を密にし、情報交換をする。



3. 地区の主要活動

◎ 南中学校区青少年フェスティバル

令和6年度（12月8日）「投げて、蹴って、飛ばして、笑顔のフェスティバル」

この日は、朝から200人近い児童・生徒が集まり、活気あふれる競技が繰り広げられました。グラウンドでは、竹馬・フリースロー・スカットボール・ストラックアウト・キックターゲットで、自分の持てる力を発揮していました。体育館では、紙ヒコーキ飛ばしが行われ、小学生・中学生それぞれ上位5名が、閉会式で決勝戦を競い、優勝者に景品が送られました。恒例の校長とのジャンケン大会。フェスティバルの終了後は、締めのカレータイムです。コロナ禍を経て、手作りから外注に代わりましたが、やっぱりカレーは欠かせませんね。

令和7年度（12月6日）「遊んで、遊んで、遊んで、遊んで、サプライズも」

今回も体育館では紙ヒコーキ飛ばし、グラウンドではスカットボールや竹馬体験などのコーナーが設けられ、友だち同士で競い合いながら笑顔を弾けさせていました。終盤には、サプライズとして校長先生とのジャンケン大会を開催。勝ち残った子どもたちには会場から歓声が上がり、大盛り上がり。さらにその後には“大人限定ジャンケン大会”も行われ、子どもたちが声援を送る中、スタッフや地域の大人たちが真剣勝負を繰り広げました。遊びと交流がぎゅっと詰まったフェスティバルは、世代を越えて笑顔が広がる南中学校らしい温かな行事で、これからも続けていきたいです。

4. その他の活動

東原コミュニティセンターの「コミセン祭り」、東地区文化センターの夏季イベント「サマーアイランド」に実行委員として参加しました。残念ながら指導員の不足から、コミセン祭りのブース参加ができなくなってしまいました。

また、南中青少年健全育成連絡協議会に参加しました。龍蔵神社・栗原神社の祭礼日は、日が暮れてからですが、近年の酷暑の影響で、汗をかきながらのパトロールです。夜店もたくさん出ていて大賑わいの中、子どもたちの笑顔はとても素敵でした。

5. 2年間で振り返った感想

萩原：もう二年経ったの早い～！

牧ちゃん、桑ちゃん、谷さん、七井先生、萩原
南中指導員5名 よく頑張りました。

他学区の協力にも感謝です。ありがたい言葉しかありません。

牧：またあっという間に過ぎた2年間…。まわりの方々に助けていただきながら、なんとか活動することができた2年間でした。

みなさーん！いつもありがとうございます。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張ります！

桑畑：青少年指導員として2年間活動し、多くの子ども達とふれあえたことは私にとって大きな経験になりました。また、行事や体験活動を通して子ども達と楽しい時間を過ごすことが出来ました。子ども達からパワーをもらいながら、私自身も成長できたと感じています。本当に楽しく、充実したあっという間の2年間でした。

谷：この2年間の活動の中で、特に青少年フェスティバルが印象に残っています。子どもたちの笑顔や真剣な表情に触れ、行事を通じて成長を支える役割の大切さを実感しました。PTA、地域の方々と協力して一つの行事をやり遂げた達成感は大きなものでした。地域全体で子どもを見守る意義を改めて感じた2年間でした。

七井：指導員として活動した2年間を通して、地域の方々との関わりの中で、子どもたちの健全な成長には地域全体の支えが欠かせないことを実感しました。さまざまな活動を通して子どもたちは大きく成長し、地域とのつながりも深まりました。これまでの経験と学びを活かし、今後も関係者の皆さまと協力しながら、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに貢献していきたいと考えています。



全 体 活 動 報 告

(1) ふるさとまつり

(2) 座間市成人式

(3) 青少年芸術祭
(青少年美術展)

(4) 専門部活動

① 文化活動部研修会

② 野外活動部研修会

③ きずな編集部

(5) 交流事業

二市合同研修会

(1) ふるさとまつり

○ 令和6年度

令和6年11月17日(日)、第39回座間市民ふるさとまつりは、晩秋ながら20℃を超える絶好のお祭り日和となりました。

青少年指導員ブースは、例年人気のスマートボール、釣り堀ゲーム、そして釣り堀に泳ぐ魚のお絵描きを実施しました。

昨年までスマートボールは2台でしたが、子ども達には昭和レトロの雰囲気的人气で、常に長い行列ができてお待たせしてしまうため、台を増やし4台を用意しましたが、どの台もフル稼働となりました。

釣り堀ゲームは、発泡トレイに子ども達が描いた好きな魚やざまりんなどのキャラクターを釣りあげます。

中には釣りよりもお絵描きに夢中になってしまう子ども達もたくさんいました。

釣り堀はビニールプールと小さなお子様用にタライも用意し、終始大盛況でたくさんのお子ども達の笑顔で溢れていました。

○ 令和7年度

令和7年11月9日(日)、第40回座間市民ふるさとまつりは、早朝の猛烈な雨で会場のグラウンドはぬかるみ状態、開催中も時おり小雨が混じる曇天の寒い一日となりました。

まずは土ならしのトンボでブースの中の泥水を掃き出し、お客様が通る通路を確保するために、各ブースの有志が協力し合ってぬかるみに砂を撒き、何とか長靴で歩ける状態にして始まりました。

例年ブースの外側まではみ出して、釣り堀ゲームやお絵描きのエリアを作ってきましたが、時折りの雨のため釣り堀ゲームは中止し、ブースの内側でスマートボール3台とお絵描きを実施することになりました。

子ども達がお絵描きで作成した発泡トレイを釣り堀で釣ることができない分、スマートボールにお客様が集中しましたが、昭和レトロなゲームながら衰える事がない人気がありました。



(2) 座間市成人式

令和7年、8年の成人式はハーモニーホール座間が改修工事のため会場がスカイアリーナ座間の大体育室で開催されました。会場がいつものところと違って戸惑っていたのは準備する側、大人の方で当の実行委員会のメンバーも成人のみなさんも、それぞれがその祝典を楽しんでいました。

ここが『私たちの成人式の会場』なのです。

体育館なので着席ではなく立席での式典、多少騒がしい場面もありましたが返って自由に動けるのが良かったみたいで友達を見つけては笑顔で再会を喜び合っていました。市内成人者の対象者・参加者は令和7年が1,191人・838人、令和8年が1,180人・789人でした。それぞれの年の実行委員が色々と考え企画し自分たちらしいその年の成人式

を盛り上げてくれました。ビデオメッセージでは令和7年は井上尚弥さん、令和8年は声優の林勇さんからお祝いの言葉をいただきました。抽選会では、シークレット賞品がそれぞれ令和7年は任天堂スイッチで令和8年はPlayStation5でした。この瞬間は特に盛り上りました。参加した成人の心に残る成人式となりました。



(3) 青少年芸術祭

令和6年度、7年度の青少年芸術祭はハーモニーホール座間が改修工事で閉館していたため全部門が中止となりました。

(4) 専門部活動

① 文化活動部研修会

今期の活動は、座間の歴史・ワイヤークラフト、座間市の郷土料理を実施しました。

座間の歴史は、座間市内を座間市役所から見て、自宅を探してみたり、遠くに見える有名な所をみたり、講師の方の話を聞いて座間市の事を再確認しました。

ワイヤークラフトでは、ワイヤーの色、ビーズの色を選ぶのになかなか決まらず、もっと時間を取れば良かったと思いつつも、完成した作品はどれも可愛かったりと良い作品ができました。

座間の郷土料理は大地のかて飯、じゃが芋のみのむし揚げ、けんちん汁、切り干し大根と豆のサラダを作りました。久々の料理研修でしたが、参加者が楽しそうに調理をしていました。

どれも美味しくできたので良かったなと思いました。

この活動を通じて、指導員達の絆がより深まったと感じました。



② 野外活動部研修会

- 令和6年度（7月21日（日））

近い将来起こるといわれている大規模地震等防災の観点から、横浜市が運営している横浜市民防災センターで「地震、火災体験ツアー」を開催しました。

さまざまな災害がリアルに体験できる施設で、過去の豪雨災害などの映像を専用のゴーグルを装着して見ることができました。その後、火災消火体験、煙体験など貴重な体験を行いました。

災害に関して、皆さんの危機意識がとても高まった研修でした。



- 令和7年度（8月31日（日））

相模原市のJAXA宇宙科学研究所相模原キャンパスの見学と、相模原市立博物館



のプラネタリウム観賞を行いました。JAXAでは主に「小惑星探査機はやぶさ2」の探査目的や地球への帰還の難しさを解説員から説明を受け感心しました。

博物館のプラネタリウムについては、リニューアルオープンしたばかりの世界最高峰の性能を誇る映像は、臨場感あふれる星空の美しさで感動しました。

③ きずな編集部

編集部の活動は広報誌「きずな」の発行（初年度2回、次年度1回）と、期末に発行される本誌の「各地区協議会活動報告」の原稿作成等です。今期は「きずな第66号、67号、68号」を発行しました。

令和6年10月発行の「きずな第66号」は、1面で野外部研修会として「地震、火災体験ツアー」実施報告と、第29期（令和6・7年度）座間市青少年指導員委嘱式について記事にしました。2・3面では今期の各学区の青少年指導員の紹介、4面では相模中学校区の活動報告として「いちにち子どもランド」と南中学校区の活動報告として「栗原神社例大祭のパトロール」、また神奈川県青少年育成活動推進者表彰について記事にして作成しました。

令和7年3月発行の「きずな第67号」は、1面で第39回座間市民ふるさとまつりについて記事にしました。2・3面は各地区の青少年フェスティバル実施報告を、4面では令和6年8月に実施した文化部研修会、9月に実施した座間・大和市合同研修会、令和7年1月の成人式の参加報告を記事にしました。

令和8年1月発行の「きずな第68号」は、1面でふるさとまつりを紹介し、2・3面は「各地区協議会から」と題して各地区の青少年フェスティバルの実施報告を記事にしました。4面では野外部研修会としてJAXA宇宙科学研究所相模原キャンパス見学、文化部研修会として「座間の郷土食材を使った料理を学ぶ」、座間市・大和市合同研修会の実施報告を記事にしました。



(5) 交流事業 二市合同研修会

○ 令和6年度

令和6年9月29日（日）に恒例の二市合同研修会が大和市の文ヶ岡小学校にて開催されました。コロナ禍により3年間の中止を経ての開催となり、座間市24名、大和市20名の44名が参加しました。

8チームに分かれ始めに顔合わせをし、校庭にてニュースポーツのモルックという競技をトーナメント戦で行い、大いに盛り上がり交流が深まった研修になりました。

○ 令和7年度

令和7年9月28日（日）にサニープレイス座間にて大和市との合同研修会を開催しました。内容は遊び道具作りで、覗くとキラキラ美しいビー玉万華鏡、針金で作った“らせん”を伝って落ちてくるグルグルヤジロベ、ひもを左右に引くと回るブンブンごま、童心にかえったように楽しく作っていました。

最後には理科実験の電気パンでパンケーキを作り、出来立てを美味しく食べました。この楽しい交流がいつまでも続いて行くことを願います。



参 考 資 料

- 令和6・7年度座間市青少年指導員名簿
- 神奈川県青少年指導員委嘱要領
- 座間市青少年指導員に関する要綱
- 座間市青少年指導員協議会規約・組織
- 県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図
- 教育・文化・スポーツ施設一覧

令和6・7年度座間市青少年指導員名簿

(任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日)

地区	No.	氏名	役職	専門部	地区	No.	氏名	役職	専門部
座間中学校区	1	有山 博幸	野外部長	野 外	栗原中学校区	1	寺田 栄枝	事務局長	きずな
	2	中村 篤人		野 外		2	深谷 光子	会計	文 化
	3	山本 千種	(~R6.5.31)	きずな		3	松崎 浩司	地区幹事	野 外
	4	三ツ橋 栄司	(~R7.3.31)	きずな		4	池谷 久三子		きずな
	5	人見 智子	地区幹事	文 化		5	小西 伸悟		野 外
	6	佐久間 頼夫		きずな		6	庭山 眞澄		文 化
	7	小坂 好美		文 化		7	奥平 勝幸	(~R7.3.31)	野 外
	8	新藤 久美子		文 化		8	岩井 由人	(R7.4.1~)	野 外
	9	内山 浩司		きずな					
	10	田所 凱		文 化					
西中学校区	1	角田 紀和		文 化	相模中学校区	1	高橋 由美子		文 化
	2	小林 慶子		野 外		2	石田 信一	きずな編集部長	きずな
	3	鈴木 陽子		文 化		3	茂木 章一		野 外
	4	明石 さゆり		きずな		4	中山 啓	地区幹事	きずな
	5	吉川 正剛		野 外		5	丸尾 博子		野 外
	6	松本 康裕	文化部長	文 化		6	飯島 敬子	監査	文 化
	7	山城 千穂		きずな		7	赤羽 真弓		文 化
	8	中島 みずほ	地区幹事	文 化		8	高山 明志	(~R7.3.31)	野 外
	9	辻 大輔		野 外		9	岡田 知法	(R7.4.1~)	野 外
東中学校区	1	山田 映子		きずな	南中学校区	1	萩原 正恵	会長	文 化
	2	佐藤 和夫	副会長	野 外		2	牧 篤美	監査	文 化
	3	中川 正親		野 外		3	桑畑 武	地区幹事	野 外
	4	中野 笑美子		野 外		4	谷 芳生		きずな
	5	佐藤 伸之		野 外		5	七井 謡一		野 外
	6	吉田 奈々子	地区幹事	文 化					
	7	塩見 千草		文 化					
	8	三ツ橋 耕平		野 外					

神奈川県青少年指導員委嘱要領

1 目的

この要領は、知事が神奈川県青少年保護育成条例（以下「条例」という。）第43条第1項の規定に基づき委嘱する青少年指導員（以下「指導員」という。）の委嘱等について必要な事項を定める。

2 指導員の推薦

- (1) 市町村長又は市町村教育委員会教育長（以下「市町村長等」という。）は、青少年に対し深い理解と愛情を持って健全な育成に努めている人を、指導員として知事に推薦するものとする。
- (2) 指導員の推薦に係る様式その他必要な事項は別に定める。

3 指導員の委嘱

- (1) 知事による指導員の委嘱は、委嘱状を交付して行う。
- (2) 指導員の委嘱に係る様式その他必要な事項は別に定める。

4 指導員の活動

指導員は、条例第43条第2項の規定に基づき、市町村や県と連携して、地域の特性に応じた青少年の健全育成に資する活動を行う。

5 指導員の任期

指導員の任期は、隔年の4月1日から翌々年の3月31日までの2年間とする。ただし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。また、当該2年間の途中で委嘱した場合の任期は、委嘱の日から当該2年間の終期までとする。

6 指導員の委嘱の取消し

- (1) 任期中において、次の各項に該当するときには、指導員の委嘱を取り消すことができる。
 - ア 市町村長等から交替又は解任の申出があった場合
 - イ 指導員としてふさわしくない非行等があった場合
- (2) 指導員の委嘱の取消しに係る様式その他必要な事項は別に定める。

7 協議会

指導員活動の効果的推進及び指導員相互の連携を図るため、神奈川県青少年指導員連絡協議会を置く。

附 則

- 1 この要領は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の際現に指導員として委嘱されている者は、この要領の規定にかかわらず指導員とし、その任期の終期は平成24年3月31日とする。

【参考】【参考】神奈川県青少年保護育成条例（令和7年3月28日改正 令和7年6月1日施行）
（青少年指導員等）

第43条

知事は、市町村長又は市町村の教育委員会が推薦する者を、青少年指導員として委嘱することができる。

- 2 青少年指導員及び青少年関係団体の構成員であつて規則で定める者（以下「青少年指導員等」という。）は、他の関係者等と連携し、及び協力して、地域における活動への青少年の参加の促進その他の青少年の健全な育成に資する取組を行うものとする。

座間市青少年指導員に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域における青少年の自発的活動及び愛護活動を推進するために座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）を置き、青少年の健全育成を図ることを目的とする。

(活動)

第2条 指導員は、地域における青少年（おおむね小学校就学時から20歳までの者をいう。）の育成及び愛護活動並びに青少年施設等の活用を図るものとし、次に掲げる活動を行う。

- (1) 青少年団体の指導育成及び組織化
- (2) 文化及びレクリエーション活動の推進
- (3) 青少年育成組織の強化と地域活動の推進
- (4) 環境の整備及び浄化活動
- (5) 青少年に関する相談と愛護活動

(謝礼金)

第3条 市長は、指導員に謝礼金を支払うことができる。

(定数等)

第4条 指導員の定数は、50人以内とする。

2 市長は、次に掲げる団体等のうちから青少年に対し深い理解と愛情をもって健全な育成に努力している者を指導員とする。

- (1) 自治会
- (2) 子ども会育成会
- (3) 小学校・中学校のPTA
- (4) その他適当と思われる機関及び団体

(実施細目)

第5条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

座間市青少年指導員協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本協議会は、座間市青少年指導員協議会と称し、事務局を座間市こども未来部こども育成課に置く。

(目的)

第2条 本協議会は、青少年指導員の連絡提携により指導力の充実を図り、地域における青少年健全育成活動を主体的に推進することを目的とする。

(構成)

第3条 本協議会は、座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）をもって構成する。

(活動)

第4条 本協議会は、第2条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 青少年健全育成活動の実施
- (2) 青少年指導に必要な研修会の開催
- (3) 指導員相互の連絡及び情報交換
- (4) 関係機関並びに諸団体との連絡調整
- (5) その他目的達成に必要な活動

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置き、その任期は指導員の任期中とする。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 2 名
- (3) 地区幹事 6 名
- (4) 専門部長 3 名
- (5) 事務局長 1 名
- (6) 会 計 1 名

2 上記役員の外に、監査2名を置く。

(役員職務)

第6条 役員職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 地区幹事は、地区を代表し、会務について審議する。
- (4) 専門部長は、専門部を代表し、会務について審議する。
- (5) 事務局長は、協議会の総括事務を行う。
- (6) 会計は、この会の会計を掌握する。
- (7) 監査は、この会の会計を監査する。

(役員を選出)

第7条 本協議会会長、副会長並びに専門部長については、選考委員会が全員の中から推薦し、全体会で選出する。

2 地区幹事は、各中学校区（以下「各地区」という。）の指導員の互選による。

3 事務局長は、会長が指名する。

4 地区幹事が、会長、副会長、専門部長又は事務局長として選出された場合は、すみやかに後任の地区幹事を補充するものとする。

5 会計は、指導員の互選による。

6 監査は、役員会の推薦による。

(選考委員会)

第8条 本協議会に、役員選出のため選考委員会を置く。

2 選考委員会の委員は、各地区の指導員の互選とし、地区ごとに1名選出する。

(協議会の会議)

第9条 本協議会の会議は、全体会、役員会及び三役会とし、会長が召集する。

2 本協議会の会議の構成員は次のとおりとする。

(1) 全体会 指導員全員

(2) 役員会 第5条第1項に定める役員

(3) 三役会 会長、副会長、事務局長

(専門部)

第10条 本協議会の活動を推進するため専門部を置き、指導員はそれぞれ、いずれかの専門部に属するものとする。

2 専門部は、文化活動部、野外活動部及びきずな編集部とする。

3 専門部の会議は、専門部長が召集し、専門部が必要な事項を定める。

(地区協議会)

第11条 本協議会の活動を円滑に推進するため、地区ごとに地区協議会を置く。

2 地区協議会の会議は、地区幹事が召集し、地区協議会で必要な事項を定める。

(規約の改廃)

第12条 この規約の改廃は、全体会において行う。

(会計)

第13条 本協議会の経費は、委託金、その他の収入をもって充てる。

2 本協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、役員会が決定する。

附 則

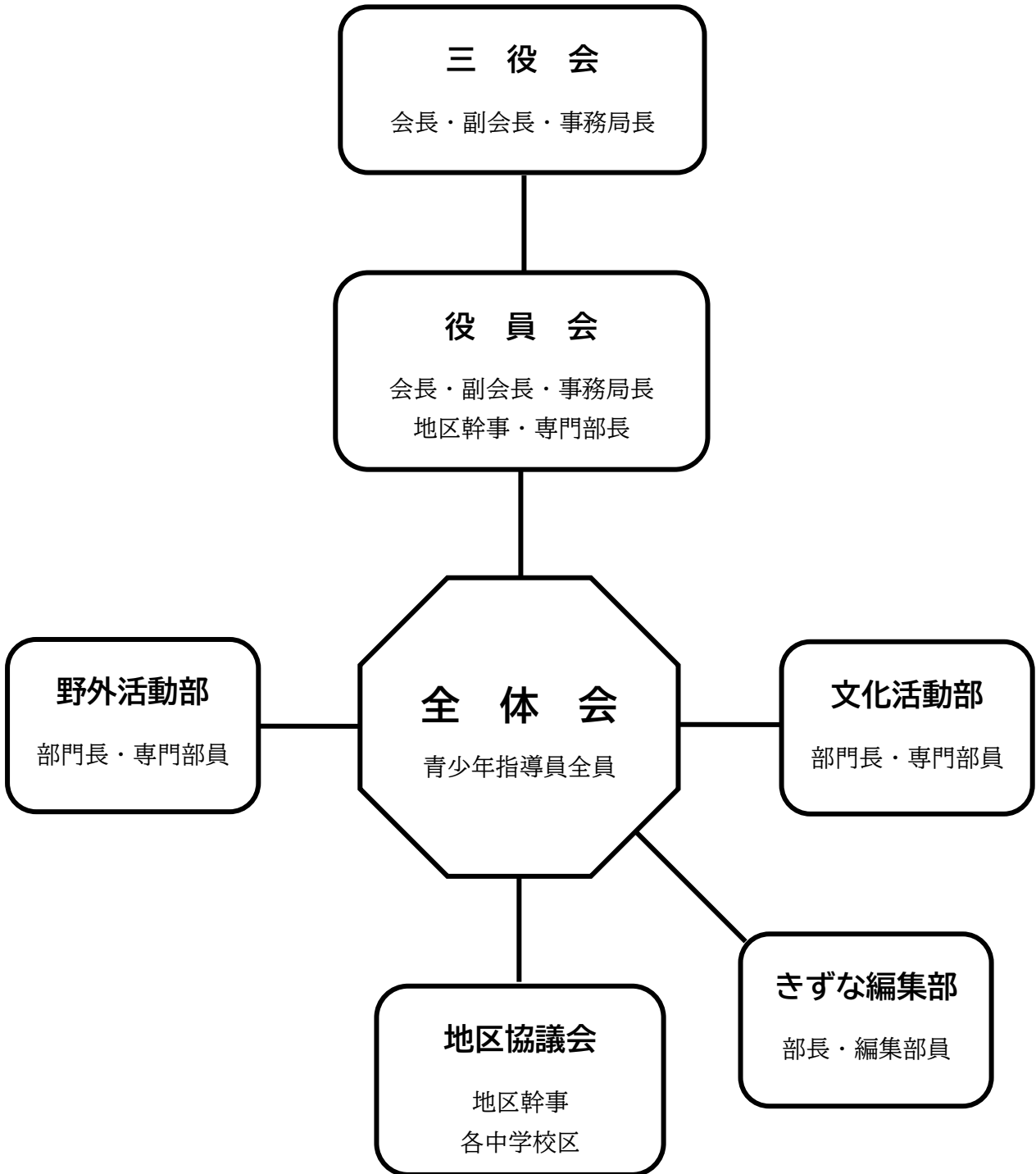
この規約は、平成5年4月1日から施行する。

この規約は、平成16年4月1日から施行する。

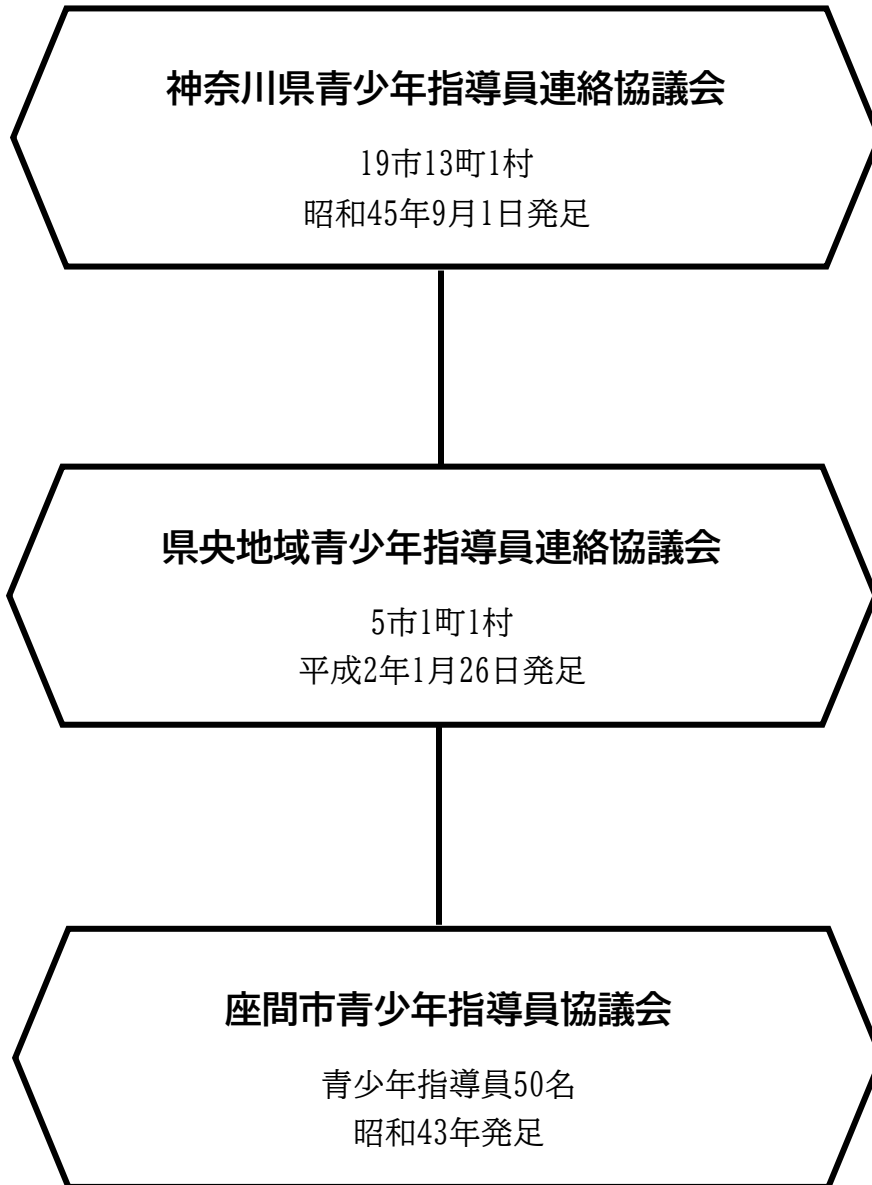
この規約は、平成28年4月1日から施行する。

この規約は、令和5年4月1日から施行する。

座間市青少年指導員協議会組織図



県・県央地区青少年指導員連絡協議会体系図



教育・文化・スポーツ施設一覧

★教育・文化施設

施設名	住所	電話番号
サニープレイス座間1階 (ざまっこプレイス)	緑ヶ丘1-2-1	046(253)8411
ハーモニーホール座間(市民文化会館)	緑ヶ丘 1-1-2	046(255)1100
図書館	入谷東 1-3-1	046(255)1211
市公民館	入谷西 2-53-34	046(255)3131
北地区文化センター	相模が丘 5-30-4	042(747)3361
東地区文化センター	東原 3-1-1	046(253)0781
座間市民活動サポートセンター	緑ヶ丘 1-1-1(ふれあい会館内)	046(255)0201
立野台コミュニティセンター (令和 7 年 11 月 1 日から休館)	立野台 3-14-12	046(255)0815
新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	四ツ谷 1026	046(257)4871
小松原コミュニティセンター	小松原 1-45-14	046(257)9640
東原コミュニティセンター	東原 4-13-13	046(255)9770
相模が丘コミュニティセンター	相模が丘 3-38-1	046(258)3000
相武台コミュニティセンター	相武台 3-20-18	046(258)3001
ひばりが丘コミュニティセンター	ひばりが丘 1-49-1	046(257)7698
プラっとざま(市民交流プラザ)	相模が丘 1-25-1 リビオタワー 小田急相模原コモンズざま 3 階	042(705)3610
県立座間谷戸山公園	入谷東 1-6-1	046(257)8388

★スポーツ施設

施設名	住所	電話番号
スカイアリーナ座間（市民体育館）	相武台 1-47-1	046(255)0077
座間市民球場（有料）	相模が丘 6-36-24	046(255)3002
新田宿グラウンド（有料）	新田宿 2178	046(252)2333
相模川グラウンド（無料）	相模川座架依橋上流	
相模川多目的広場（無料）	相模川座架依橋上流	
栗原遊水地スポーツ広場（無料）	栗原 1702-3	
ニュースポーツ多目的広場（無料）	四ツ谷 1044-1	
ひまわり公園テニスコート（有料）	入谷東 1-6-3	046(256)1385
栗原遊水地テニスコート（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
座架依橋壁打ちテニス練習場（無料）	座間 1540(座架依橋下)	
栗原遊水地バスケットゴール（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
立野台プール	立野台 1-1-2	046(251)5672
座間公園プール(休場中)	座間 1-3671	
広野プール(休場中)	広野台 1-37-1	
東原プール	東原 3-3-14	046(251)5044
ひばりが丘プール	ひばりが丘 4-4-3	046(255)5087
相武台プール（休場中）	相武台 4-2-13	
相模が丘プール	相模が丘 2-1-9	046(256)2285
入谷プール	入谷西 5-43-1	046(256)2325
旭プール(休場中)	ひばりが丘 5-28-5	
中原プール(休場中)	西栗原 2-14-1	046(251)6027



- 〔石 田〕 28期・29期ときずな部長としてやって来ましたが、ハーモニーホール座間の改修工事の影響で、青少年活動イベントも中止となり、「きずな」に掲載するための記事が少なくなり、通常の記事内容の字数や写真枚数を増やすなどして体裁を整えました。
- 30期では、また、以前のおりハーモニーホール座間でのイベントも復活できるので、次期では、人形劇を頑張りたいと思っていますので、是非、青少年指導員の参加協力をお願いいたします。
- 〔佐久間〕 今期、途中からのきずな編集担当となりました。広報紙やまとめ誌などを作成するにあたり、過ぎ去った楽しかった思い出や体験から、再び呼び戻すことで二度の喜びや時には反省をもとに次への計画実践などに繋がるためのステップになりました。今期の活動も無事に終わられ、それらの活動記録がまとめ誌に仕上がることで私達の役割も終えようとしています。
- これら作成にあたりご協力をいただいた皆様に感謝を申し上げます。
- 〔明 石〕 きずな担当として、生徒のみなさんや保護者の皆様に指導員の活動を少しでも身近に感じてもらえたらいいな、と思いながら作ってきました。
- まとめ誌も当時のことを思い出しながら書いていると、本当にあっという間の2年間だったなあとしみじみ感じます。
- 来期もイベントなどを通して、子ども達や地域の皆様、そして指導員の皆様と楽しく交流していけたら嬉しいです。きずなの作成にあたりご協力いただき本当にありがとうございました。

- 〔山 田〕 3期続けてきずな部員を務めました。紙面を埋めるのに苦労したコロナ禍の時期を経てみると、たくさんの行事が平常通りできて、それを皆さんに伝える作業をすることがより楽しく感じた今期でした。今後は美術展の再開を楽しみにしています。石田部長はじめ、部員、事務局の皆さん、ありがとうございました。
- 〔池 谷〕 きずな編集部員となり、活動を意識して記録するようになりました。撮った写真を観ながら活動を振り返ると、参加している子どもたちの笑顔や困った顔や頑張っている顔、それを見守る指導員の姿が写っています。これらの写真や文章を「きずな」や「まとめ誌」にうまく表現できるように、これからも腕を磨いていきたいです。
- 〔中 山〕 初めての任期の開始とともにきずな編集部員になりましたが、お役に立てたかどうかは自信がありません。
きずなの編集作業自体はベテランの編集部員におんぶに抱っこで、私は端っこを触っただけでしたが、皆さんのおかげで良いものができたと思っています。
- 〔 谷 〕 本誌の完成に際し、ご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。活動の記録とともに、地域の子どもたちへの想いを詰め込みました。これからも地域一丸となって、温かな輪を広げていきましょう。



きずな編集部長 石田信一
きずな編集部員 佐久間頼夫 明石さゆり 山田映子
池谷久三子 中山啓 谷芳生



座間市ホームページ
内でPDFデータを
公開しています。

(<https://www.city.zama.kanagawa.jp/>)

令和6・7年度(第29期)
座間市青少年指導員活動のあゆみ

発行日 令和8年3月31日
発行 座間市
編集 座間市青少年指導員協議会
印刷 座間市



座間市青少年指導員協議会

